

■ 共通の成果指標と達成目標

国際化関連

東京工業大学・清華大学大学院合同プログラム15周年記念式典を開催

東京工業大学・清華大学大学院合同プログラムが開設15周年を迎え、10月21日、東工大蔵前会館で15周年記念式典を開催しました。記念式典には清華大学代表団9名、文部科学省、プログラムを支援している民間企業の方々、本学名誉教授、本学学生およびプログラム修了生など約100名が参加しました。



〈 式典参加者 〉

ガバナンス改革関連

東工大アクションプラン2018-2023

東工大が掲げた長期目標「世界最高の理工系総合大学の実現」に向け、2017年には東工大に集う我々が何者かを表す「東工大ステートメント(Tokyo Tech 2030)」を、2018年には世界に伍していくために如何に取り組むかを示した「東工大コミットメント2018」を発表しました。

その実現のために、学内での対話を繰り返しながら、より具体的な取り組みをまとめ、「東工大アクションプラン2018-2023」を策定・発表しました。

アクションプランは、「創造性を育む多様化の推進」、「Student-centered learningの推進」、「飛躍的な研究推進で社会に貢献」、「経営基盤の強化と運営・経営の効率化」の4つの柱からなり、このアクションプランを教職員、学生、同窓生が一丸となり、「Team東工大」として実行していきます。



〈 東工大アクションプラン2018-2023 〉

教育改革関連

データサイエンス・AI教育を全ての大学院生向けに開始

東工大は、2020年4月より、「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を開設します。これは、多様な専門分野を持つ大学院生が高度なDS・AIを学ぶことにより、分野を超えて連携し、課題解決を図ったり、新産業を生み出すことを狙いとしています。全ての大学院生が履修可能で、学士課程4年生も指導教員の許可を得て一部の科目を履修することができるものです。

これに先立ち、2019年12月2日、対話型授業やアクションラーニングを促進するための最先端施設「レクチャーシアター」において、データサイエンス(DS)・AIのトライアル授業が始まりました。この日、会場には学生が続々と集り、会場は熱気に包まれました。



〈 熱気に溢れるトライアル授業の様子 〉

教育革新シンポジウム

2020年1月23日、「学生のエンゲージメントを高めるオンラインを活用した授業づくり」をテーマとして「2019年度 教育革新シンポジウム」を開催しました。講義法とアクティブ・ラーニングのそれぞれの利点を活かして、オンラインや教室での学生のエンゲージメント(深い関与)を高める授業づくりについて、参加者と共に考えました。

学内外合わせて100名を超える大学教職員、学生及び教育関係者が参加し、質の高い学びを実現するための授業づくりへの関心の高さを改めて認識する機会となりました。



〈 ポスターセッション 〉

国際的認証評価

本学の工学院機械系、同電気電子系では国際的認証評価の一つであるJABEEの予備審査を受審し暫定認定を受けていましたが、その後本審査を通過し、正式に認定を受けました。

■ 国際的評価の向上につながる取組(タイプAのみ)

サマープログラム2019

6月4日～8月8日の10週間、欧米を中心とする本学協定校等との連携による国際化の推進を目的として、サマープログラム2019(Tokyo Tech Summer Program 2019)を開催しました。2016年に開始してから4回目となる今年のプログラムには26名の学生が参加しました。学生は受け入れ先となった本学教員の研究室に所属し指導を受けました。同じ研究室の日本人学生と交流しながら、研究を進め、最後は研究成果を発表しました。



〈大岡山キャンパス本館前で参加学生と本学学生TA(ティーチングアシスタント)〉

【海外の大学との連携の実績(タイプAのみ)】

第2回インペリアルカレッジロンドンとの博士後期課程学生交流プログラム(Imperial-Tokyo Tech Global Fellows Programme 2019)

6月10日から6月14日にかけて、第2回インペリアル・カレッジ・ロンドンとの博士後期課程学生交流プログラム(Imperial-Tokyo Tech Global Fellows Programme 2019)を実施しました。

本プログラムは、東工大と英国インペリアル・カレッジ・ロンドン(以下、インペリアル)が共同で2018年に立ち上げた合宿トレーニング型国際交流プログラムであり、専門分野や国籍の垣根を超えたコミュニケーション力の醸成やリーダーシップの育成、若手研究者のネットワーク構築等を目的としています。



〈インペリアルカレッジロンドンのエントランスホールにて〉

第2回となる今回は、国際連合が提言する「持続可能な開発目標SDGs」の一つである「Climate Action(気候変動に具体的な対策を)」をテーマに、2012年ロンドンオリンピックで自転車競技の会場となったLee Valley Velopark(リー・バレー・ヴェロパーク)で行われ、本学とインペリアルから20名ずつ、計40名の選抜された博士後期課程学生が参加しました。

■ 自由記述欄

東工大DLab「TRANSCHALLENGE社会」・「東工大未来年表」発表

東京工業大学未来社会DESIGN機構(DLab)は、人々が望む未来社会とは何かを、社会の一員として学内外のさまざまな方と広く議論しながらデザインしていくための組織として発足しました。

2020年1月20日、DLabのおよそ1年半にわたる活動から生まれた「未来社会像」と「東京工業大学未来年表」の発表イベントを、東京・渋谷スクランブルスクエアの「渋谷キューズ」にて開催しました。



〈東工大DLabイベントでのワークショップの様子〉

高校生、大学生、企業・官公庁の方々など幅広い参加者が総勢100名以上集まり、トークセッションやワークショップを行い、「社会とともに大学としての学術的合理性をもって“ありたい”未来社会の姿を追求し続けることを改めて発信し、DLabの活動への参加を呼びかけるとともに、同イベントを通じて、多様な方々との対話の中から新たな気づきを生みだしていくDLabの活動スタイルを体感する場となりました。